

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北海道		代表者名	知事 鈴木 直道
担当者部署	総合政策部次世代社会戦略局デジタルトランスフォーメーション推進課		連絡先電話番号	011-204-5172
担当者役職	主事	担当者氏名	高木 美南	連絡先E-mail
住所	060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	道が現状考えている北海道オープンデータ官民ラウンドテーブルの進行方法についてよく理解し、的確なアドバイスをいただいたため。特に、個人からのデータ要望の経緯や要望内容について説明したところ、議論の方向性についてアドバイスをいただくことができた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月10日	15時00分	16時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	北海道オープンデータ官民ラウンドテーブル(以下「ラウンドテーブル」)では、データや行政の専門的知識を有する専門家から意見や提案をいただきながら、民間からのデータ要望に適切な回答をしていくことを目標としているが、専門的知識を有する専門家が不足している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	「民間からのデータに関する要望」と、それに対する「データを保有する原課の回答」という、双方の立場からの声について理解し、より良いデータの公開を目指して提案をするためのラウンドテーブルを開催すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	ラウンドテーブルの当日の進め方や議論の方向性について(要望者からのプレゼン時間、データ担当課とのディスカッション時間、ファシリテーターの提案の方向性等)。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ラウンドテーブル当日の進め方、議論の方向性の共有	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回はラウンドテーブルに向けた支援・助言をいただいたため、アンケートはなし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	来年度も継続し、行政の保有するデータに関する民間ニーズを把握し、それに則したデータ公開につなげたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

